拓く ひらく

人の話は目と心で聴く　みんなが先、自分が後　気づき、考え、行動する

明石市立衣川中学校　第１学年
学年通信　No. 12
2018 年(平成 30 年 5 月 22 日)

『みんなが先　自分が後』を考える…

校外学習 in 明石公園で学んだこと

◆校外学習を通して、どんなことを学びましたか

みんなのことを考えて行動する。

一人でも自分勝手な行動をしたら、みんながくずれる。

みんなで協力して助け合うことが大切で、みんなでやっていかなければならないと思いました。

みんなで協力して、時間を守って行動するということ

自分のことより、みんなのために今やるべきことをやっていく。

みんなが一つの目的にむかえたから大縄跳びを跳べたので、やっぱり全員が一つの目的にむかうことが大切だと思いました。

◆明日から個人、班、学級として、どのようなことを心がけていきますか

みんなが相手のことを考えて、自分勝手な行動をしない。

間違っていることを注意して、けじめをつけることができるようにすること。

班で掃除や班活動、給食班になったらしっかりとやっていきたい。

明日からもするべきことをして、時間を守る。

相手に言う言葉を優先に考えること、自分１人を優先しないこと。

私語が多いのはあまり変わらなかったから普段の学校生活で私語は慎むようにしたい。

俺一人が自由な行動をとって悪かったし、やっぱり誰か一人でも違うことをすると、みんなが困るし自分も困るから、みんなを優先して行動することは大切だと思う。

最近のみんなの様子、自分の様子を冷静に振り返ってみたい。
最近の様子をビデオで見ると、そこに映っている自分は、
全体を優先した、前向きの楽しい顔をした“つくる”行動の自分なのか
自分の勝手で幼い態度を出し、周りの雰囲気を“つぶす”行動の自分なのか。

作文『校外学習で感じたこと』より

初めの魚の棚のチェックポイントに行き、このまま他のチェックポイントもスムーズに動けられるようにしようと思いました。しかし、その後「時間が余るから魚の棚見に行こうや」や「早く明石公園に行こう」など班の意見がバラバラになってしまいました。そのことがきっかけで班行動も予定通りにまわれなくなってしまいました。しかし、お昼ごはんを食べとるときは男女ともに会話ははずみ、その後の大縄跳びでは４組には２組の倍ぐらいのポイントで負けてしまったけど私にとっては１年２組の良い思い出になったかなと思います。これからは自分勝手な行動には気を付け、たくさんの思い出を作れるようにしたいです。

人がまとまること、人が一つになることは、思っている以上に難しいものです。
だからこそ、一つになることに価値があり、楽しさやうれしさがあるのです。





私の明石公園での思い出は、みんなの優しさです。私が千畳芝で体調をくずして休んでいると、友達が「大丈夫？」と声をかけてくれて、保冷剤をくれました。そして、「これで冷やしてて」と優しく話かけてくれたことが思い出です。その後も、あまりしゃべったことがない友達からも「大丈夫？」と言われてとても嬉しかったです。あの時の思い出は、ずっと忘れません。本当にありがとう。今もあの時のことは感謝しています。

クラスの活動がすべてこんなふうになりたい。
素の自分が出し合える仲間づくりをしていきたい。
本当の自分たちの良さが、素直に出し合える仲間になりたい。
この校外学習を通して、自分たちが変わっていくことが本当の目標なのです。

明石公園への校外学習で、小学校の時とは違って班での行動が多く、難しく感じました。班の人と一緒に行動できなかったりと、大変なこともあったけど、班で協力することが大切だということがあらためてわかりました。また、レクではみんなで協力して大縄を跳べたので、とても大切な思い出になりました。レクを通してクラスの団結力が少し高まったと思いました。これからは校外学習での反省を活かして生活していきたいです。

大縄跳びも、部活動も、合唱も、普段の授業も、そして終わりの会や給食のときも。
全て同じなのです。
むしろ、日頃の小さなことの方が、クラスや自分の様子がよく表れているのです。
バラバラで自分勝手な人が群れているだけなのか、同じものを目指したまとまりのある集団なのかが。